

授業科目名	国際教育協力実習
科目番号	CB11103
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2・3 年次
時間割	春C秋ABC 集中
担当教員	井田 仁康, 佐藤 博志, 名畑目 真吾
授業概要	<p>タイにおいて日本語の補助教師として活動する。なお、旅費は実費を受講者が負担する。8～9月, 11～12月, 2月～3月を目途にそれぞれ1～2名前後が実習を行う。派遣先により、教える対象は高校生もしくは大学生となる。タイでの日本語補助教員としてのボランティア活動を体験し、国際的な視野を広げるとともに異文化理解、人間尊重の精神などを習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの1週間 <p>タイでの現地教員によるオリエンテーション, ホームステイ先との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約2～3週間 <p>主に高校生を対象として、タイの大学の附属高校などで日本語授業の補助教師としてのボランティア活動。指導内容は、日本語の発音、書き方、会話、文化、習慣など多岐にわたるが、現地での進み具合により担当教員の指示に従う。</p> <p>タイでの授業の取り組み方などを総合して評価する。</p> <p>他の授業を休んで参加することにもなるので、関係の先生と十分に話し合うこと。人数の制限があるので、希望の期間に実習が行えないこともある。独学でもタイ語の習得をすすめる。実習においては、基本的な社会ルールとマナーを守ること。実習校で受けた助言をよく理解し、省察すること。</p>
備考	<p>キーワード: タイ, 学校, 実習</p> <p>G科目</p> <p>対面</p> <p>国際教育協力論の単位を修得していることを条件とする。人数を制限する。教育学類生、人間学群学生を優先する。教職課程の履修が条件となる。4年生の履修は原則として認めない。</p>
授業方法	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	<p>汎用コンピテンス 1. コミュニケーション能力 4. 広い視野と国際性</p> <p>専門コンピテンス 1. 人間科学の理解力 5. 教育学に関する先導的発信力</p>
授業の到達目標（学修成果）	タイでの日本語補助教員としてのボランティア活動を体験し、国際的な視野を広げるとともに、異文化理解、人間尊重の精神などを習得する。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめの1週間 <p>タイでの現地教員によるオリエンテーション, ホームステイ先との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1か月程度 <p>主に高校生を対象として、タイの大学の附属高校などで日本語授業の補助教師としてのボランティア活動。指導内容は、日本語の発音、書き方、会話、文化、習慣など多岐にわたるが、現地での進み具合により、担当教員の指示に従う。</p>
履修条件	春AB開講の国際教育協力論を履修し、合格していること
成績評価方法	タイでの授業の取り組み方などを総合して評価する。
学修時間の割り当て	

び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	タイの情勢や感染症の拡大状況等によって、実習の予定が変更になったり中止になったりすることがあるため、そのことを十分に理解すること。また、他の授業を休んで実習に参加することにもなるので、関係の先生と十分に話し合うこと。実習への参加条件は、教職課程を履修中(教員免許取得希望)であり、かつ、教育学類生・人間学群生が優先される。また、人数の制限があるので、希望の期間に実習を行えないこともある。独学でもタイ語の習得をすすめる。実習においては基本的な社会ルールとマナーを守ること。実習校で受けた助言をよく理解し、省察すること。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	タイ，学校，実習